

1. 科目名 (単位数)	障害児療育 (2 単位)	3. 科目番号	SSMP2341 SNMP2341 SCMP2341 SBMP2341 SJMP2119						
2. 授業担当教員	齋藤 厚子								
4. 授業形態	講義、DVD視聴、演習	5. 開講学期	春期/秋期						
6. 履修条件・他科目との関係									
7. 講義概要	<p>「療育」という用語は、狭義には障害の早期発見から就学までの取り組みの意味で使われ、広義には成人の生活支援も含み、医療・福祉・教育にまたがる分野で使われている。近年、明確な診断のない「気になる」子どもや被虐待児もその対象となり、ノーマライゼーションの理念の理解とともに発達や障害についての幅広い知識が必要となるばかりか、親支援や地域の子育て支援も保育士の重要な役割となっている。</p> <p>本科目では、知的障害、肢体不自由、視覚障害や聴覚障害、自閉スペクトラム症を含む発達障害や、診断はないが「気になる」子どもを対象に、年齢は乳幼児から成人まで、場所は一般の保育所のみならず、病院内保育、施設内保育等、幅広い視野で「療育」を捉え、保育士としての専門性を培う。</p>								
8. 学習目標	<p>インクルーシブ保育の場では、障害のある子どもやその子を支える家族の生活・心情をふまえた支援とともに、障害のない子どもへの配慮や共生社会の形成を念頭においた教育もできるようになる。また、専門機関においても、医療・福祉と連携しながら保育士としての専門性を発揮して、適切な支援ができるようになる。</p> <p>① 幅広い対象、場、形態に及ぶ「療育」の理念や概念について知る。 ② 障害に関する医療・社会福祉・教育の制度についての基礎知識が身に付く。 ③ 障害のある子どものいる家族の生活や心情について共感できるようになる。 ④ 定型発達についての基礎知識を基盤に、障害のある子どもの育ちに見通しをつけられるようになる。 ⑤ 様々な専門家の役割を知って、障害のある子どもや保護者を中心とした連携・協働ができるようになる。</p>								
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	<p>1. 各回の事前・事後学習課題を確認し、予習、復習をしておくこと。 2. 障害の捉え方、ノーマライゼーション・合理的配慮についての理解を基本とし、各障害の特徴・支援方法について具体的、実践的にまとめる。(事例問題含む) 詳細については講義内で指示する。</p>								
10. 教科書・参考書・教材	<p>【教科書】 指定しません。レジュメ、資料を使用します。※レジュメをファイルするフォルダーを用意すること。</p> <p>【参考書】 小林保子・立松英子『保育者のための障害児療育 理論と実践をつなぐ』学術出版会。 東京福祉大学編『保育児童福祉要説』、中央法規。</p>								
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <p>1. 障害児者に関する自分なりの課題意識をもち、最新の理念を積極的に学んだか。 2. 本人や家族への支援について正しい知識を身につけたか。 3. 定型発達の順序性について理解し、実践場面で応用できるようになったか。</p> <p>○評定の方法</p> <p>以下を総合的に検討し、判断する。</p> <table border="0"> <tr> <td>1 授業態度</td> <td>総合点の40%</td> </tr> <tr> <td>2 小テスト</td> <td>総合点の20%</td> </tr> <tr> <td>3 課題レポート</td> <td>総合点の40%</td> </tr> </table> <p>*なお、本学規定の「3/4以上の出席」が単位修得の条件であることも判断規準となる。</p>			1 授業態度	総合点の40%	2 小テスト	総合点の20%	3 課題レポート	総合点の40%
1 授業態度	総合点の40%								
2 小テスト	総合点の20%								
3 課題レポート	総合点の40%								
12. 受講生へのメッセージ	<p>授業を通して学ぶ知識や考える力、他者と協力する姿勢などの全てが将来の障害児支援の専門職としての実践力につながります。そしてその実践力が、子どもたちの可能性を広げます。そのような将来への視点を持って授業に臨んでください。また、学習したことを日々の生活と結び付けて考え、行動につなげていくことを期待しています。</p>								
13. オフィスアワー	<p>後日インフォメーションします。尚、オフィスアワー以外の時間でも来室は可能ですが、できるだけ事前にメールにて連絡をするようにしてください。 メールアドレス: atsaito@ed.tokyo-fukushi.ac.jp 研究室: 13号館8階984</p>								
14. 授業展開及び授業内容									
講義日程	授業内容	学習課題							
第1回	オリエンテーション 障害概念の変化	事前学習	シラバスを読み授業概要を理解しておく。※レジュメをファイルするフォルダーを用意すること。						
		事後学習	日常におけるノーマライゼーションについて考える。						
第2回	ノーマライゼーションについて実践的に理解する	事前学習	自分の生活する場についてノーマライゼーションの視点から考えてみる。						
		事後学習	再度自分の生活する場のノーマライゼーションについて自分のできることの視点から考えてみる。						
第3回	療育・インクルーシブ保育とは 障害児者を抱える家族への理解と支援	事前学習	障害児者を抱える家族についての今時点での理解内容を整理しておく。						
		事後学習	療育・インクルーシブ保育・家族支援における保育士の役割について自己の意見をまと						

			めておく。
第4回	障害についての理解を深める① 聴覚障害児者への理解と支援	事前学習	聴覚障害についての今時点での知識を整理しておく。
		事後学習	聴覚障害を抱える方自己ができる支援を考える。
第5回	障害についての理解を深める② 視覚障害児者への理解と支援	事前学習	視覚障害についての今時点での知識を整理しておく。
		事後学習	視覚障害を抱える方へ自己ができる支援を考える。
第6回	障害についての理解を深める③ 知的障害の理解と支援	事前学習	知的障害についての今時点での知識を整理しておく。
		事後学習	知的障害を抱える方へ自己ができる支援を考える。
第7回	障害についての理解を深める④ 知的障害の理解と支援 事例で考える	事前学習	事例を読み支援について考えておく。
		事後学習	知的障害児への支援における保育士の役割について自己の意見をまとめておく。
第8回	障害についての理解を深める⑤ てんかん・身体障害・重症心身障害への理解と支援	事前学習	てんかん・身体障害・重症心身障害について今時点での知識を整理しておく。
		事後学習	てんかん・身体障害・重症心身障害を抱える方へ自己ができる支援を考える。
第9回	障害についての理解を深める⑥ 自閉症スペクトラム障害への理解と支援	事前学習	自閉症スペクトラム障害について今時点での知識を整理しておく。
		事後学習	自閉症スペクトラム障害児への支援における保育士の役割について自己の意見をまとめておく。
第10回	障害についての理解を深める⑦ 注意欠如多動性障害への理解と支援	事前学習	注意欠如多動性障害について今時点での知識を整理しておく。
		事後学習	注意欠如多動性障害への支援における保育士の役割について自己の意見をまとめておく。
第11回	障害についての理解を深める⑧ 気になる子への理解と支援	事前学習	気になる子について今時点での知識を整理しておく。
		事後学習	気になる子への支援における保育士の役割について自己の意見をまとめておく。
第12回	支援プランの作成① 支援プラン作成の手順	事前学習	知的障害・発達障害の特徴について復習しておく。
		事後学習	支援プラン作成における重要点について確認しておく。
第13回	支援プランの作成② 事例を通して支援プランを考える	事前学習	事例を熟読し行動の背景について整理しておく。
		事後学習	作成したプランについての再検討を行う。
第14回	支援プランの作成③ 事例を通して支援プランを考える	事前学習	事例を熟読し行動の背景について整理しておく。
		事後学習	作成したプランについての再検討を行う。
第15回	全体まとめ	事前学習	1～14回までのレジュメ・ノートの内容を復習しておく。
		事後学習	障害児療育における保育士の役割についての自己意見をまとめる。